

修正内容一覧

ID番号	物質名	CAS番号	項目	修正前					修正後					備考						
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き							
m-nite-627-44-1	ジエチル水銀	627-44-1	生殖毒性	区分1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質の生殖影響に関するデータはないが、特定のアルキル水銀において生殖毒性及び発生毒性が認められている。有機水銀であるメチル水銀は、一般に動物及び人間に対する催奇形性物質であることはよく知られている (ACOH (7th, 2001)) ため、区分1とした。 なお、旧分類で標識に用いられていたRTECSはList 3であることから情報源から削除した。 また、旧分類で参考データとしていた雄雄ラットに15日間連続吸入ばく露した試験において、雄で精子数及び精子の運動能の減少がみられ、雄では性周期の延長、受胎率の低下がみられ、生まれた胎動物では寿命の短縮、発達の遅延、生殖器の変化がみられたとの報告 (Gargoli 2nd, 1999) は、試験条件、結果等の詳細が不明な二次情報であることから分類には用いなかった。	変更なし	変更なし	区分1A	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	政府による分類では以下の理由により「区分1」であるが、メチル水銀がヒトに対する催奇形性物質であることを考慮し、NITEにより細区分は区分1Aとした。 本物質の生殖影響に関するデータはないが、特定のアルキル水銀において生殖毒性及び発生毒性が認められている。有機水銀であるメチル水銀は、一般に動物及び人間に対する催奇形性物質であることはよく知られている (ACOH (7th, 2001)) ため、区分1とした。 なお、旧分類で標識に用いられていたRTECSはList 3であることから情報源から削除した。 また、旧分類で参考データとしていた雄雄ラットに15日間連続吸入ばく露した試験において、雄で精子数及び精子の運動能の減少がみられ、雄では性周期の延長、受胎率の低下がみられ、生まれた胎動物では寿命の短縮、発達の遅延、生殖器の変化がみられたとの報告 (Gargoli 2nd, 1999) は、試験条件、結果等の詳細が不明な二次情報であることから分類には用いなかった。	変更なし	変更なし	2021.3修正
m-nite-1335-32-6	塩基性酢酸鉛	1335-32-6	生殖毒性	区分1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質のデータはみつからなかったが、無機鉛化合物はヒトで、発生神経毒性物質、生殖毒性物質として知られていることから、専門家の判断に基づき、区分1とした。	変更なし	変更なし	区分1A	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	政府による分類では以下の理由により「区分1」であるが、無機鉛化合物はヒトの生殖毒性物質として知られていることから、NITEにより細区分は区分1Aとした。 本物質のデータはみつからなかったが、無機鉛化合物はヒトで、発生神経毒性物質、生殖毒性物質として知られていることから、専門家の判断に基づき、区分1とした。	変更なし	変更なし	2021.3修正
m-nite-1344-37-2	ビゼントエロー34	1344-37-2	生殖毒性	区分1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質に関する試験結果はないが、鉛は胎盤を通過し、出生前後の暴露は仔の神経発達へ影響する。また雄雄の生殖能力へ影響する (HSDB (2005)) との記載がある。またEU分類によると、Pb1.62であることから区分1とした。	変更なし	変更なし	区分1A	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	政府による分類では以下の理由により「区分1」であるが、無機鉛化合物はヒトの生殖毒性物質として知られていることから、NITEにより細区分は区分1Aとした。 本物質に関する試験結果はないが、鉛は胎盤を通過し、出生前後の暴露は仔の神経発達へ影響する。また雄雄の生殖能力へ影響する (HSDB (2005)) との記載がある。またEU分類によると、Pb1.62であることから区分1とした。	変更なし	変更なし	2021.3修正
m-nite-90076-65-6	リチウム=ビス(トリフルオロメチルホスホニル)イミド	90076-65-6	生殖毒性	区分1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	本物質のデータはないが、リチウムは“Chemically Induced Birth Defects” (Birth Defects 3rd (2000)) で催奇形性物質としてあげられており、“Catalog of Teratogenic Agents” (Teratogenic 12th (2007)) でもリチウム服用の妊娠において心臓奇形の出生報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることから、区分1とした。	変更なし	変更なし	区分1A	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	政府による分類では以下の理由により「区分1」であるが、ヒトに対する催奇形性はリチウムイオンによるものと考えられることから、NITEにより細区分は区分1Aとした。 本物質のデータはないが、リチウムは“Chemically Induced Birth Defects” (Birth Defects 3rd (2000)) で催奇形性物質としてあげられており、“Catalog of Teratogenic Agents” (Teratogenic 12th (2007)) でもリチウム服用の妊娠において心臓奇形の出生報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることから、区分1とした。	変更なし	変更なし	2021.3修正
m-nite-98886-44-3	ホステアゼート	98886-44-3	生殖毒性	区分1	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	ラットの二世代繁殖試験で胎動物に毒性のみられない投与量 (30 ppm) で、F1仔の生存率、体重の減少がみられたとの記載、およびウサギの催奇形性試験で胎児に催奇形性はなかったが、胎動物に毒性がない用量で胎児の体重の軽度の低下、小動物の出現頻度が軽度増加したとの記載 (農薬登録申請資料) に基づき、区分1とした。	変更なし	変更なし	区分1B	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	政府による分類では以下の理由により「区分1」であるが、ヒトに生殖毒性を示す知見は得られていないため、NITEにより細区分は区分1Bとした。 ラットの二世代繁殖試験で胎動物に毒性のみられない投与量 (30 ppm) で、F1仔の生存率、体重の減少がみられたとの記載、およびウサギの催奇形性試験で胎児に催奇形性はなかったが、胎動物に毒性がない用量で胎児の体重の軽度の低下、小動物の出現頻度が軽度増加したとの記載 (農薬登録申請資料) に基づき、区分1とした。	変更なし	変更なし	2021.3修正
m-nite-131-17-9	フタル酸ジアルファ (別名: ジアルファタラート)	131-17-9	引火性液体	区分に該当しない(分類対象外)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	区分に該当しない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.3修正	
m-nite-131-17-9	フタル酸ジアルファ (別名: ジアルファタラート)	131-17-9	自己反応性化学製品	区分に該当しない(分類対象外)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	区分できない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.3修正	
m-nite-131-17-9	フタル酸ジアルファ (別名: ジアルファタラート)	131-17-9	自然発火性液体	区分に該当しない(分類対象外)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	区分に該当しない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.3修正	
m-nite-131-17-9	フタル酸ジアルファ (別名: ジアルファタラート)	131-17-9	自己発熱性化学製品	区分に該当しない(分類対象外)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	区分できない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.3修正	
m-nite-131-17-9	フタル酸ジアルファ (別名: ジアルファタラート)	131-17-9	金属腐食性化学製品	区分に該当しない(分類対象外)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	区分できない	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.3修正	